

① 燃料装置（燃料リターンパイプ）
② 電気装置（オルタネータ電源配線）のリコールについて

リコール番号4485

（届出日：平成31年4月18日 開始日：平成31年4月19日）

平成31年4月18日、UDトラックス株式会社が下記のリコールを国土交通省に届出しました。
対象車両をご愛用のお客様には、大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございませんが、ご愛用車の措置につきましては、販売会社よりご連絡・ご相談をさせていただきますので、点検・修理（無料）をお受けいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。
対象車両をご愛用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

1. 不具合の状況

- ① 原動機型式GH11の燃料装置において、燃料リターンパイプの材質選定及び締付けトルク設定が不適切なため、エンジン振動の応力によって、当該パイプのアダプター締結部に亀裂が発生するものがあります。そのため、そのままの状態で使用続けると、シリンダーヘッド内に燃料が漏れエンジンオイルを希釈させ、油圧警告灯の点灯及び警報ブザーが鳴り、最悪の場合、希釈したオイルが燃焼室内へ吸い上げられ、運転手の意図しないエンジン回転上昇に至るおそれがあります。
- ② 150アンペア仕様のオルタネータ電源配線において、オルタネータ裏側の配索及び固定方法が不適切なため、振動により当該配線が固定ブラケットのエッジ部と干渉して被覆を損傷させることがあります。そのため、そのままの状態で使用続けると、当該配線が短絡し発熱・発煙するおそれがあります。

2. 改善の内容

- ① 全車両、該当する故障コードの確認及び燃料リターンパイプの亀裂を点検し、当該パイプを対策品に交換します。また、該当する故障コード及び亀裂が確認された場合は、エンジン内部を洗浄します。なお、車両走行データを確認し、燃料希釈によるエンジン回転上昇が確認された車両はエンジンを良品に交換します。
- ② 全車両、電源配線に保護材を取付けて、固定ブラケット及びクランプを対策品に交換します。なお、電源配線に損傷がある場合は補修又は新品に交換します。

3. 対象車両

- UDトラックス株式会社が製作している大型トラックが対象です。
- 型式、車台番号の範囲、製作期間、対象台数は次の通りです。

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
UD トラックス	2PG-CD5AL	「クオン」	JNCMBNOC7HU026287 ~ JNCMBNOC8KU038519 平成29年9月25日 ~ 平成30年10月22日	12	① 12台
	2PG-CD5BA		JNCMBNOC8HU021910 ~ JNCMBNOC3KU039660 平成29年6月9日 ~ 平成30年12月4日	105	① 105台 ② 7台
	2PG-CD5BL 2PG-CD5BL改		JNCMB02C3HU025945 ~ JNCMB02C3KU039495 平成29年9月6日 ~ 平成30年12月7日	119	① 119台 ② 2台
	2PG-CD5CA 2PG-CD5CA改		JNCMB02C1HU016208 ~ JNCMB02C5KU039658 平成29年4月28日 ~ 平成30年12月11日	2,082	① 2,082台 ② 208台
	2PG-CD5CE		JNCMB02C6JU031003 ~ JNCMB02C9KU039551 平成30年2月22日 ~ 平成30年11月29日	138	① 138台 ② 17台
	2PG-CD5CL		JNCMB02C6HU018195 ~ JNCMB02C2KU039648 平成29年8月3日 ~ 平成30年12月6日	162	① 162台 ② 2台
	2DG-CF5AL		JNCMBNOB7JU032894 ~ JNCMBNOB4KU039450 平成30年5月9日 ~ 平成30年12月11日	47	① 47台 ② 32台
	2PG-CG4CA		JNCMBMOGXXKU038485 平成30年11月8日	1	① 1台
	2PG-CG5BA		JNCMB02G9HU025953 ~ JNCMB02G1KU039319 平成29年9月8日 ~ 平成30年11月19日	29	① 29台 ② 2台
	UD トラックス		2PG-CG5BE 2PG-CG5BE改	「クオン」	JNCMB02G5JU034378 ~ JNCMB02G5JU037104 平成30年5月24日 ~ 平成30年9月6日
2PG-CG5BL		JNCMB02G0JU033297 ~ JNCMB02G6KU039512 平成30年4月19日 ~ 平成30年11月29日	2		① 2台
2PG-CG5CA		JNCMB02GXHU017229 ~ JNCMB02G8KU039656 平成29年6月22日 ~ 平成30年12月10日	3,605		① 3,605台 ② 158台
2PG-CG5CE		JNCMB02G1JU031283 ~ JNCMB02GXKU039643 平成30年12月4日 ~ 平成30年12月4日	167		① 167台 ② 16台
2PG-CG5CL		JNCMB02G5HU022337 ~ JNCMB02G4KU039539 平成29年8月3日 ~ 平成30年11月28日	144		① 144台 ② 10台
2PG-CW4AL		JNCMBMOD6KU038215 ~ JNCMBMOD9KU038404 平成30年11月1日 ~ 平成30年11月1日	2		① 2台
2PG-CW5AL		JNCMB02D5HU017046 ~ JNCMBNOD9KU039655 平成29年5月10日 ~ 平成30年12月5日	842		① 842台
2PG-CW5BL 2PG-CW5BL改		JNCMB02D1HU022941 ~ JNCMB02D1KU039469 平成29年6月19日 ~ 平成30年11月26日	184		① 184台 ② 28台
2PG-CW5CA 2PG-CW5CA改		JNCMB02D7HU022507 ~ JNCMB02D9KU039493 平成29年6月6日 ~ 平成30年11月27日	136		① 136台 ② 8台
2PG-CW5CL 2PG-CW5CL改		JNCMBP0D0HU022005 ~ JNCMB02D1KU039634 平成29年6月6日 ~ 平成30年12月4日	197		① 197台 ② 4台
2PG-CX5BA		JNCMB02D6HU024538 ~ JNCMB02D4KU039630 平成29年7月28日 ~ 平成30年12月4日	58		① 58台 ② 24台
2PG-CX5BL		JNCMB02D3HU026151 ~ JNCMB02D0KU039558 平成29年8月30日 ~ 平成30年11月29日	36		① 36台 ② 2台
2DG-CZ5BL 2DG-CZ5BL改		JNCMBPOE4JU032938 ~ JNCMBPOE8KU039487 平成30年5月9日 ~ 平成30年12月4日	168		① 168台 ② 112台
2PG-GK5AAB 2PG-GK5AAB改		JNCMBPOA3HU022537 ~ JNCMBPOA4KU039659 平成29年11月14日 ~ 平成30年12月24日	995		① 995台 ② 4台
2PG-GK5AAD		JNCMB22A4JU027834 ~ JNCMB22A5KU039654 平成29年10月31日 ~ 平成30年12月5日	394		① 394台 ② 5台
2PG-GK5AAE		JNCMB22A7JU029657 ~ JNCMBPOA8KU039616 平成29年12月14日 ~ 平成30年12月7日	73		① 73台
2PG-GK5AAK		JNCMB02A1JU034874 平成30年6月7日	1		① 1台
日野	2DG-HF5AL	「 - 」	JNCMBNOB8KU038074 ~ JNCMBNOB3KU039097 平成30年10月11日 ~ 平成30年11月19日	2	① 2台
	2DG-HZ5BL		JNCMBPOE2JU037314 ~ JNCMBPOE5JU037355 平成30年9月10日 ~ 平成30年9月10日	3	① 3台
いすゞ	2DG-SF5AL	「 - 」	JNCMBNOB5KU038114 ~ JNCMBNOB2KU038510 平成30年10月16日 ~ 平成30年10月30日	2	① 2台
	2DG-SZ5BL		JNCMBPOE7JU037356 ~ JNCMBPOE2KU039176 平成30年9月10日 ~ 平成30年11月16日	4	① 4台
	(計30型式)	(3車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成29年4月28日 ~ 平成30年12月24日	(計9,714台)	① 9,714台 ② 641台

<ご注意>

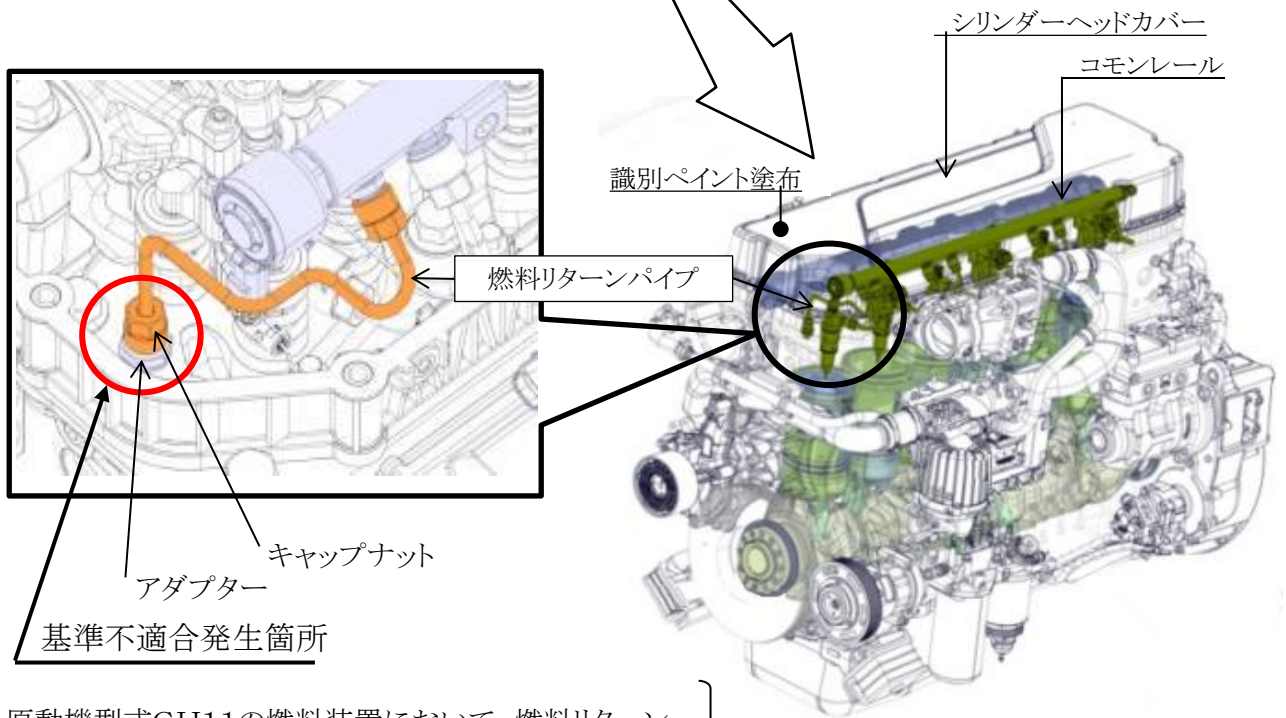
- 対象車両の含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両もありますので、詳しくは最寄りのUDトラックス販売会社にお問い合わせください。
- 対象車両の製作期間はご購入の時期とは異なります。

【お問い合わせ先】

UDトラックス株式会社 お客様相談室
〒362-8523 埼玉県上尾市大字巻丁目1番地
フリーダイヤル 0120-67-2301

オープン時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00
但し、会社休業日を除きます。

改善箇所説明図①



原動機型式GH11

原動機型式GH11の燃料装置において、燃料リターンパイプの材質選定及び締付けトルク設定が不適切なため、エンジン振動の応力によって、当該パイプのアダプター締結部に亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、シリンダーヘッド内に燃料が漏れエンジンオイルを希釈させ、油圧警告灯の点灯及び警報ブザーが鳴り、最悪の場合、希釈したオイルが燃焼室内へ吸い上げられ、運転手の意図しないエンジン回転上昇に至るおそれがある。

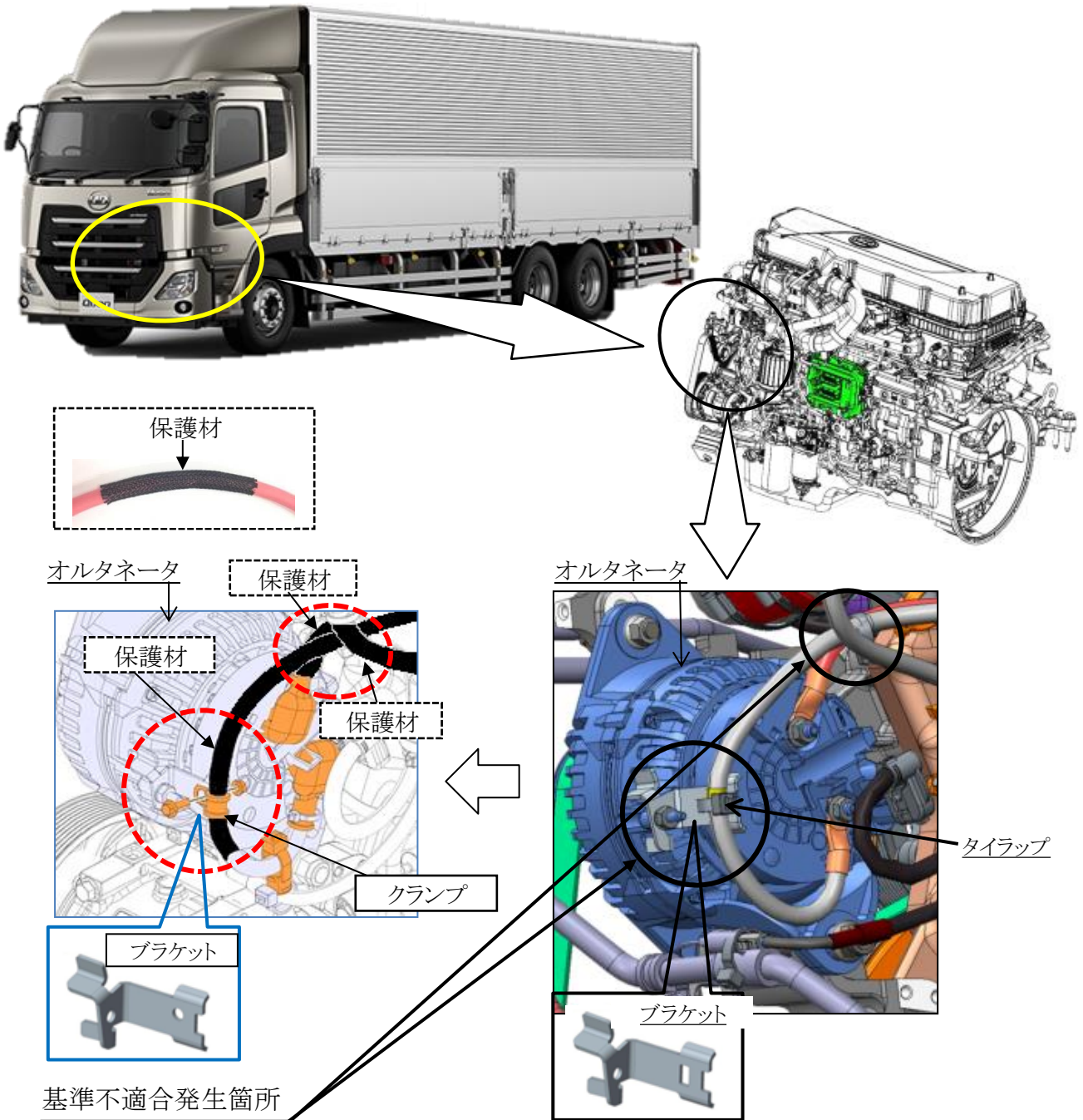
改善措置の内容

全車両、該当する故障コードの確認及び燃料リターンパイプの亀裂を点検し、当該パイプを対策品に交換する。また、該当する故障コード及び亀裂が確認された場合は、エンジン内部を洗浄する。なお、車両走行データを確認し、燃料希釈によるエンジン回転上昇が確認された車両はエンジンを良品に交換する。

注： は交換する部品を示す。

識別： シリンダーヘッドカバーの前方中央部に白色または黄色のペイントを塗布する。

改善箇所説明図②



基準不適合発生箇所

150アンペア仕様のオルタネータ電源配線において、オルタネータ裏側の配索及び固定方法が不適切なため、振動により当該配線が固定ブラケットのエッジ部と干渉して被覆を損傷させることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該配線が短絡し発熱・発煙するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、電源配線に保護材を取付けて、固定ブラケット及びクランプを対策品に交換する。なお、電源配線に損傷がある場合は補修又は新品に交換する。

注： は交換する部品、 は追加する部品を示す。
 識別： オルタネータ裏側の電源配線に装着された保護材で識別する。